



[伝統と進取の気風の地]

歴 084 (H28)

3代目となる現在の本庁舎は、関西建築界の父・武田五一による監修のもと、昭和2年に東側（第1期）、昭和6年に西側（第2期）が建設されました。

本庁舎の建物中央にある玄関を中心にほぼ完全な左右対称で、中央部と両翼を突出させ、塔を建てるネオ・バロック的な骨格を持ち、細部装飾は本来の形式を東洋的なモチーフに置き換えているのが特徴です。東洋的なモチーフには、日本的なもの、天井飾りの蓮華文・菊花文など日本に定着した中国的なもの、本庁舎の細部装飾の基調であるインド的なもの、エントランスホールの葱花形アーチなどに見られるイスラム建築固有の造形などが挙げられ多様です。

祇園祭のくじ取り式が毎年市会議場で行われるなど、京都を代表する祭礼において重要な役割を担っており、祇園祭山鉦巡幸や時代祭風俗行列の背景を飾ります。

御池通と一体的な広がりを持つ市庁舎前広場では、市民の憩いの場として親しまれているほか、イベントが開催されるなど、市民生活に欠かせない場となっています。

屋上は庭園として整備され、開庁日は誰でも気軽に訪れることができます。



エントランスホール



屋上庭園（開庁日公開）



〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

電話番号 075-222-3111（代表）

アクセス 地下鉄東西線「京都市役所前駅」直通

ホームページ <https://www.city.kyoto.lg.jp/>

京都市役所本庁舎ガイドブック

<https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000300122.html>